

クルマの補償をお探しの組合員の皆さんへ

# じちろうマイカー共済は ここが魅力!



組合員の利用と安全運転に支えられて  
組合経由の加入で  
**団体割引**  
**30.0%**

掛金見積もりでその効果を  
実感してください!  
good!

組合員=契約者で  
同居親族の車にも  
**団体割引を適用!**

重大事故の際の失職防止に取り組む  
起訴前の弁護士費用も支払う  
弁護士費用等補償特約  
(賠償対応補償付)

**標準装備**



事故受付は24時間365日  
マイカー共済ロードサービスも受けられます。

(ロードサービスは証書に記載の被共済車両が対象です。)

**組合で掛金見積もり受付中!**

裏面の見積依頼書の①~③の必要事項をご記入のうえ、  
現在の「車検証(電子化されている場合は自動車検査証記録事項)」・  
「保険証券(共済証書)」のコピーとともにご提出ください。  
※初めて自動車補償に加入する場合は「保険証券(共済証書)」のコピーは不要です。

※団体割引率は、当該団体(自治労)に対する割引率です(個々の割引率は異なります)。  
また、毎年11月末時点の実績(契約件数・損害率)により変動することがあります。

インターネットでも見積もり可能!

自治労共済推進本部

<https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/jichiro/>

ID:  
tasukeai  
パスワード:  
jichiro

スマホで  
簡単アクセス!



[団体割引30.0%版]

# じちろうマイカー共済 見積依頼書

## ①太枠内を必ず記入してください。〈2025年4月制度改定版〉

効力開始日 年月日

県名	所属組合名						払込方法	月払	年払
県コード	組合コード	支部コード	職員コード	生協組合員番号					
契約者 (組合員)	(フリガナ) 名前 連絡先(TEL) (内線)			主たる被共済者*	(フリガナ) 名前 生年月日 西暦 19 20		続柄 年月日		

\*主たる被共済者は、契約者、契約者の配偶者、契約者または契約者の配偶者と同居する親族の範囲で、被共済自動車を主に使用する方となります。

※配偶者には、内縁関係にある方および同性パートナーを含みます。ただし、契約者または内縁関係等にある方に婚姻の届け出をしている配偶者がいる場合を除きます。

## ②車両ナンバー・車名とAEB装置の有無を、太枠内に必ず記入してください。

ナンバー	例:品川、横浜	車名	例:プリウス、 フィットなど	AEB装置 (衝突被害軽減ブレーキ)	あり	なし
------	---------	----	-------------------	-----------------------	----	----

※AEB装置が搭載されていても、必ずしもAEB割引の対象になるとは限りません。また、AEB装置は各社の安全装備パッケージに含まれていることがあります。

※この見積依頼書に記載いただいた個人情報は、掛け金見積もりを行うために活用するほか、「ごくみん共済 coop」の各種共済サービスのご案内に利用させていただきます。

## ③該当する、または希望される特約・割引の□に✓を入れてください。

<b>運転者年齢条件</b>  運転者の年齢で、掛け金を割引します。 ※被共済車を運転する人の中で一番若い人の年齢にあつた条件を選択してください。 <input type="checkbox"/> 年齢を問わず補償 <input type="checkbox"/> 26歳以上 <input type="checkbox"/> 21歳以上 <input type="checkbox"/> 35歳以上	<b>子供特約</b>  運転者年齢条件とは別に、主たる被共済者の子ども専用の年齢条件を設定できます。 <input type="checkbox"/> 年齢を問わず補償 <input type="checkbox"/> 21歳以上 <input type="checkbox"/> 26歳以上	<b>運転者の範囲を限定する特約</b>  <input type="checkbox"/> 運転者本人限定特約 9%割引 車を運転する人を主たる被共済者のみに限定する場合に、基本補償・車両損害補償の掛け金を割引します。 ※運転者を限定した場合、それ以外の方を使用・管理している間の事故は補償対象外となります。 また限定の対象となる方(本人、配偶者)は運転者年齢条件の範囲内であることが必要です。	<b>ハイブリッド車割引</b>  <input type="checkbox"/> 「ごくみん共済 coop」指定の低公害車(電気自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車、ハイブリッド自動車、液化石油ガス(LPG)自動車、燃料電池自動車)の場合に、基本補償・車両損害補償の掛け金を割引します。
<b>福祉車両割引</b>  福祉車両で消費税非課税の対象である場合に、基本補償・車両損害補償の掛け金を割引します。	<b>複数契約割引</b>  すでにマイカー共済の契約があり、契約者が同一の場合は、新規契約の基本補償・車両損害補償の掛け金を割引します。	<b>セカンドカー割引</b>  1台目(他損保契約も可)の契約等級が11等級以上で、かつ一定条件を満たしていれば、2台目以降の車を新たに契約される場合は、6等級ではなく、7等級を適用します。	<b>搭乗者傷害特約</b>  <input type="checkbox"/> 人身傷害の被共済自動車搭乗中のみ補償特約 19%割引(四輪の場合) 人身傷害の被共済自動車搭乗中の事故のみに補償を限定する場合に、人身傷害補償の掛け金を割引します。 <input type="checkbox"/> 1,000万円 <input type="checkbox"/> 500万円 ※標準型に加えて補償を付帯する場合はチェックしてください。

★基本補償は「標準型」をベースとします。「人身傷害補償」は補償額を選択可能です。

<b>見積もり受付中!!</b>	<b>人身傷害補償</b> 契約車両(被共済自動車)に搭乗中等の人が自動車事故で死傷したとき 補償額を任意で増やすこともできます。  <b>自動車事故傷害見舞金</b> 人身傷害補償の共済金とは別枠で支払われる見舞金です	<b>最高5,000万円</b> 標準型(被共済者1人につき)  <input type="checkbox"/> 最高5,000万円 <input type="checkbox"/> 1億円 <input type="checkbox"/> 2億円 <input type="checkbox"/> 無制限 <b>上記と別枠で所定の額をお支払い</b>	<b>特約をご希望の方は□に✓を入れてください。</b>	
	<b>弁護士費用等補償特約</b> (賠償対応補償) 自動車等での交通事故で被害を被り、事前に「ごくみん共済 coop」の同意を得て相手に法律上の損害賠償を請求する場合、それに要した弁護士費用等を支払います。また、被共済者が契約車両で人身事故の加害者となった場合の刑事訴訟前弁護費用も支払います。	<b>最高300万円</b> (被共済者1人につき)  <b>法律相談費用を10万円を限度に別途補償</b> (一部対象とならない費用もあります)	<b>自転車賠償責任補償特約</b> 自転車の所有・使用・管理に起因する偶然な事故により、他人を死傷させたり、他の人の財物に損害を与えた、法律上の損害賠償責任を被ったときに1事故につき最高1億円まで補償します(対人・対物合計)。 ※原付自転車は対象にいません。	
<b>対人賠償</b> 他人を死傷させたとき  <b>対物賠償</b> 他人の物を壊したとき	<b>無制限</b> (被害者1人につき)  <b>無制限</b> (1事故につき)	<b>さらにすると安心</b>	<b>交通事故危険補償特約</b> 電車や自転車に乗っているときや、自動車(二輪・原付を含む)事故以外の「交通事故」による損害を補償します。主たる被共済者とその家族が事故にあった場合、損害額を補償します。	
<b>車両損害補償の付帯を希望される場合は□に✓を入れてください。</b>		<b>車の補償に</b>	<b>地震・噴火・津波に関する車両全損時一時金補償特約</b> 地震もしくは噴火またはこれらによる津波によって、被共済自動車がこの特約の定める全損の条件に該当する場合、一律50万円を一時金として支払います(車両共済金額が50万円を下回る場合はその金額を支払います)。 ※車両共済金額が50万円を下回る場合は掛け金もそれに応じて低減します。	
<b>一般補償</b> <b>エコノミーワイド</b> <b>エコノミー</b>		<b>+ 付随諸費用補償</b> 全損事故や盗難で契約車両(被共済自動車)が使用不能となったときの車両搬送費用・車両引取費用・代替交通費用や、事故や盗難により発生した身の回り品の損害を補償します。	<b>マイバイク特約</b> [標準補償型(10B)の場合] 対人賠償:無制限 対物賠償:無制限 自損事故傷害:最高1,500万円「原付自転車・総排気量125cc以下または定格出力が1kw以下」を対象とし、家族全員の原付事故を補償します。 ●家族が原付自転車を複数台所有していても1契約で補償します。	
<b>車両の補償</b>	<b>車両損害の無過失事故に関する特約</b> 「もらい事故」等で過失のない、自動車同士の事故(相手自動車が特定できない「あて逃げ」は含まれません)であることが確定した場合、事故件数に数えない「ノーカウント事故」として取り扱います。			
<b>車両損害補償の自己負担額</b>	<b>新車買替特約</b> 新車購入した自動車が事故にあり、事故日時点の共済期間の満了日が「初度登録(初度検査)年から61ヶ月以内」の場合に、契約時に設定した新車価格相当額を限度に実損分を補償します。 ※契約時に設定した新車価格相当額よりも低額で再取得できた場合は、新車価格相当額までは支払いません。			
<p>*車両損害補償は、四輪自動車で選択できます。ただし、四輪自動車であっても用途・車種・型式等により選択できない場合があります。(キャンピング車、最大積載量が0.5tを超える普通貨物車、ダンプ装置のある軽四輪貨物車、改造により車種・用途が変更されている車などは車両損害補償は選択できません。)</p> <p><b>なし</b>  <b>5万円</b>  <b>10万円</b>  <b>20万円</b></p> <p>・損害額から設定している自己負担額を差し引いた金額を、契約車両(被共済自動車)の補償額を限度に支払います。      ・車両損害補償部分の掛け金を抑えることができます。      車両共済金額が20万円未満の場合、車両損害補償の自己負担額は設定できません。</p>				

このチラシは、じちろうマイカー共済の概要を説明したもので、契約の際には「ご契約のびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずお読みください。

※沖縄県では、掛け金額は異なります。

※退職後に新規加入する場合の「標準型」には刑事訴訟前弁護費用の支払いがない弁護士費用補償特約がセットされます。